

イマヌエル教報

2020. 3

1947年7月1日第三種郵便物認可 2020年3月5日（毎月5日発行）

イマヌエル総合伝道団

No.884

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

「悪い時」にこそ

ブロックアドバイザー 阪下 謙



「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。」

（Ⅱテモテ四章二節）

早いもので、教会総会を越えて3月に入り、年会を迎えようとしています。それぞれの教会は教会総会で定められた計画に従って、本格的な活動を進めていることと思います。春の特別集会の準備をされている教会もあることでしょう。

伝道すること、福音を宣べ伝えることは私たちに与えられた使命であり、主は時の良し悪しに関わらず、しっかりとみことばを宣べ伝えるように語っています。

しかし、実際に伝道の働きを進めようとすると、解決できない問題が多く、結果が全く出ないこともしばしばあります。私たちを取り巻く状況などを考えると、今は「時が悪い」のだと思いたくなります。そして、時が悪く、伝道することの難しさや困難な課題ばかりに囲まれていると、何をしたらよいかわからなくなったり、ついには伝道の意欲さえ失ってしまう危険性まで生じてしまうかもしれません。

しかし、「時が……悪くてもしっかりとやりなさい」と言われる主は、悪い時にこそ私たちに知恵と恵みを満たして、力強く導いてくださるお方です。

*

昨年の年会では、全国の教会のアンケートに基づいて、伝道についての研修が持たれました。その報告書の中で、全国の教会でなされている伝道方法がびっし

りと書き切れないぐらいに記されていました。私は、そのあまりに多くの伝道方法、多方面にわたる伝道の働きに驚かされました。このような具体的な働きが生み出されるためには、それぞれの教会がどれほど祈りながら話し合い、多くの犠牲を払って協力しながら伝道の働きを進めてきたことでしょうか。まだ、始められたばかりの働きも多く、結果が出ていないかもしれませんが、主は必ず壁を打ち破り、課題を乗り越えさせて伝道の働きを力強く進めて下さると信じます。

*

今月末には第75次年会が開催されます。任命式を越えて、教会は思いを新たに、新年度の働きが進められていくことでしょう。それぞれの教会では、伝道の働きも、教会建設も、いろいろな課題に直面しているかもしれません。しかし「悪い時」にこそ、私たちがともにいて、恵みと力を現してくださる主を信じて前進しましょう。

「ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。」（Ⅰコリント一五章58節）

目次

- 「悪い時」にこそ……阪下 謙…1
- ファミリー年会、東京・近畿教区CS教師講習会……2
- 教団運営委員会便り、信徒フォーラム案内……3
- 海外トピックス、国内教会局、祈りのネットワーク…4
- 人権委員会、NSD 報告、女性牧師リトリート……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

ファミリー一年会への期待

新しい教団の新しい年会

One Teamへキックオフ



教団代表 内山 勝

今年の年会は摂理的に、これまでにないものとなります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願ひします。いくつか特筆すべきことを挙げます。

◆神学院で開催されます

神学院での開催は本場に久し振りで、10年以上のブランクがあります。ペテル・ハウスをはじめ、宿泊受入態勢が格段に改善されました。かつてのアノ年会を想像しないで、どうぞご期待ください。

◆信徒局の全面的応援

以前の神学院での年会は、神学生や多くの牧師による準備と奉仕で成り立っていました。この度は、信徒局「教団活動支援部」が、裏方を全面的に背負ってくださったことになりました。「先生方はどうぞおくるぎください」との計らいに心から感謝します。

◆ファミリー年会

当初は牧師家族を年会に招待しようという趣旨でしたが、主は、そこにとどまらず、次代を担って

行く青年たちと一緒に年会を開催するように導かれました。

とにフェスと併行で進められる年会の中、3月26日午後の聖会は、「教職者」「信徒」「とにキャン世代(中学生)・大学生・成人青年」たちのコラボで行われます。昨年とともにキャン講師である安藤理恵子師をお迎えします。

困難な時代を迎えた私たちに今求められているのは「霊の一致」です。世代の壁を超えて私たちが霊において一つとなれるかどうかは、私たちの将来に直結しています。一致のない群れは滅びます。

①先ず牧師である私たちが主の前に遜り、青年たちに寄り添い、彼らの心を理解し、彼らと共に祈り、彼らを励まし、教会の建て上げに心を合わせるために、献身を新たにできますように。

②同様に青年たちも、牧師たちや年上の世代の人たちに心を開いて近づき、年長者たちの痛みや願いを理解し、共に祈り、励まし合い、主のからだである教会を建て上げるために、共に立ち上がることができますように。

私の祈りはここにあります。文字通り、群れがOne Teamとなることができそうです。「One Team」と書かれたTシャツを全員で着用し、聖会IIに臨みます。ぜひ喜んで着用してください。

どうか、今からでも、青年たちを誘い、彼らと共に年会にご参加ください。皆さまのおいでを心からお待ちしております。

近畿教区CS教師講習会報告

CSクラスのレベルアップへ 箴言からのヒント 実演の中での学び

草津教会 渡辺みふみ

2月11日(火)の休日、晴天の中、大阪伝法教会高見チャペルに65名が集いました。

午前は、開会礼拝の後、一般信徒向けの講演を田辺寿雄先生(王寺教会)に「コミュニケーション

を見直す——箴言からのヒント」と題して語って頂きました。箴言の様々な聖句を通し、自らのことばのキャッチボールはどうか、聞くことはできているかを考えつつ、楽しい学びとなりました。人間関係の傷は、神のことで癒されること、聞くことは愛であることも教えられ、神の愛に憩い、愛を注ぐ者になりたいと思いました。

午後は、講演の質疑応答の後、「ようこそZOS(せいはいへ)」と題して、関西聖会と並行して行われた子ども聖会を再現し、報告をしました。

その実演の中で、お話や教材、工作やゲームなどを紹介し、教会学校のヒントも提供されました。幼児一名の参加により、リアルで

東京教区CS教師講習会

ひと味違った学び …CSの魅力堪能…

深川教会 川嶋範子

2月11日(祝)富士見教会を会場にCS講習会が開催されました。

午前は昨年引き続きイスラエル公認ガイドの柿内ルツ先生をお迎えし「ユダヤの暦と祝祭日」のご講演を頂きました。聖書の「暦・時間」がわかると、聖書の世界に

和やかな雰囲気の実演となりました。各教会学校が工夫をしながら、少しでも成長できるようにと願いつつ、教区主事の閉会礼拝をもって閉じられました。



近隣教区、他教団の方々もご参加くださり、CS教師・サポーター・生徒として交流できたことは大きな励みとなりました。



教団運営委員会から……

年會を前にして

拡大運営委員会

広報 大兼久芳規



青年課、中高生課、教会学校課とこの年もよき働きが継続されています。

また信徒伝道者の3名の方が、よき証しを残され引退されます。また新しく1名の方が加えられ12名の兄弟が、今期も働きを継続してくださいます。

▼信徒局

信徒局の働きの充実、各地の声と協力をいただくために、エリア制を取り入れ、働きの浸透を願っています。教団のブロック割りと若干の違いがあります。信徒局の働きの拡大のため、特に4月29日にもたれる「第1回信徒フォーラム」のためお祈りください。

▼聖宣神学院

現在の在籍者は、男子5名、女子7名ですが、今春4名の方が卒業予定です。ホテルハウスの専任スタッフも与えられ、運営が続けられています。

▼女性牧師ホーム委員会

厚木の女性牧師ホームの名称を「レストハウス」に変更し、今までは女性のためのホームでしたが、男性の方も使用が許されます。

▼厚生委員会

昨年、の認知症の理解の学びをしましたが、各教会でも使用できる認知症の学びDVDを年会でも紹介、その使用法を研修します。

また「将来に備える研修会」を、会場ホテルハウス、呉ベタニアホームで開催し、今年70歳と75歳の先生方対象に行われます。

▼神学・宣教研究委員会

「聖書(下)」が発行され、年会で研修の時が持たれます。今後は「きよめの神学」について、宣教部会は「異端・カルト」「伝道」についてリサーチが続けられます。

▼人権委員会

教団で使用された「ハラスメントの学びパンフレット」が改編され、いのちのことは社より出版されます。

▼災害対策委員会

この年度は、幾度も台風が襲来し、河川の氾濫などがありました。そのため各教会より250万円の支援金が寄せられ感謝しました。

▼新日本聖書刊行会

「聖書翻訳を語る」が刊行され、スマホ用無料アプリ「聴くドラマ聖書」がリリースされました。

▼第75次年会

聖会Ⅱでは、牧師も青年たちと同じTシャツを着て参加し、牧師が青年に寄り添う集会へと期待されています。これに加え「とにキャスタトレ」「とにフェス」が開催されますので、冒頭のみことばのように、良ききよめの集会、ファミリー年会となりますようお祈りください。

また今年初めて信徒の方々が裏方を担ってくださり、会場準備・運営を支えてくださいます。

▼新型肺炎対策

今後拡大が懸念される新型コロナウイルスによる新型肺炎対策のため、年会でも会場に医療チームが待機します。しかし熱のある方はご無理なさいませんにように。

第1回 信徒フォーラム開催

4月29日(水・祝) 白井幸子先生を講師に迎え 今日に生きる幸せな家族 その条件とは?をテーマに

信徒局長 斎藤純雄

「見よ。何という幸せ何という楽しさだろう。兄弟たちが一つになつてともに生きるとは……主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。」
(詩篇二三・1、3)

この春に開催を予定してあります記念すべき第1回「イムマヌエル信徒フォーラム」のご案内をさせていただきます。

これまで3回にわたり、全国壮年部大会が開催されてまいりました。それぞれ意義深い、実りの多い大会でありましたが、牧師・信徒の高齢化の中で、同じような形での継続は困難であると私たちは判断いたしました。そして、これに代わり、YS(ユース・ステーション)・YSB(社会人)世代を含む壮年部・女性部の全信徒を対象とした、よりふさわしい形としての「信徒フォーラム」を選びました。

すでに昨春秋に教団の牧師、信徒の皆様へ「信徒フォーラムのテーマ」に関してアンケートをお願いいたしました。

主に在る皆様の貴重な霊的交わりと成長の機会として、是非お祈りとともに、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

願いましたところ、20代から70代まで、71名の方々から貴重なご回答と熱いご意見を頂戴できました。ご回答をお寄せいただいた皆様、この場を借りて心からの感謝と御礼を申し上げます。集計の結果、皆様希望されたテーマは、上位から「クリスチャンの家庭建設」「献身」「奉仕」という順で、僅差でしたがそれぞれ多くの希望が寄せられました。

そこで第一回フォーラムのテーマとして「家族」を取り上げ、テーマを「今日に生きる幸せな家族の条件——私たちに求められているものは」と題し、現在ルーテル学院大学名誉教授、臨床心理士である白井幸子先生をお迎えして、ご講演いただくことにいたしました。私たちが現代に生きるクリスチャンの家庭が抱えている様々な困難や大切な信仰継承の問題について有益な示唆と共に、希望の光が与えられるものと期待しています。

日時は4月29日(水・祝)10時受付開始で開催の予定です。詳細は、申込書記載欄を設けた2回目の案内リーフレットを3月中旬に各教会宛て送付いたしますので、そちらをご参照くださり、申し込み要綱に添ってお申し込みください。「信徒フォーラム」と銘打ってありますが、先生方のご参加も大歓迎です。

主の御心に在る皆様の貴重な霊的交わりと成長の機会として、是非お祈りとともに、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

国内教会局から

教会建設の務めに
ともに主の前に

今年の年会は、初めての試みですが「ファミリールン」で、とにフェスや教会学校が同時にもたれます。祝福をお祈りください。とにキャンの初期から開わりながら振り返って見れば、労苦は少なく、ただた



大きな恵みを感じています。この奉仕を通して感じること、次のことです。①それぞれの教会に繋がっていること。集まっている中高生一人ひとりが教会で愛され、祈られていることをひしひしと感じます。②彼らとともに恵みを味わえること。考え方や世代の違いは大いにありますが、それらをともに受け入れて

同じ恵みを味わえることは大きな祝福です。③これから教会の将来を担う人たちであること。これまでも、これからは大切に育ててください。年会の聖会IIは青年主体のプログラムですが、すべての世代がともに主を見上げる時です。一緒に恵まれます。 (阪下謙)

■気温0度で水中に、ロシア正教恒例「主の洗礼祭」
ロシア正教で「主の洗礼祭」に当たる1月19日に合わせ、凍結し

受けたとされるこの日、聖職者が清めた水が聖水に変わり、浴びたり飲んだりすることで無病息災につながると信じられている。タス通信によると、米ニューヨーク州の大西洋に面した海岸でも70人以

■古代ヘブライ語の文書解読をハ
イファ大学が高速化技術
イスラエル紙「ハアレツ」が1月17日、ハイファ大学デジタル人文科学研究所のスタッフがハイテク技術を使って古代ヘブライ語の文書を高速で自動解読するシステム開発に取り組んでいると報じた。「オクトパス」と名付けられた解読システムは、今は予備段階。様々な古代ヘブライ語文書の文字を、自動読解のための深層学習装置「クレイケン」に認識させることで解読システムの能力を高め、近い将来、手書きも含めあらゆるヘブライ語文書を瞬時に自動解読してテキストとして提供することを目指している。歴史、聖書と文学の研究改善に先進技術を利用する「デジタル人文科学」の一部。



海外トピックス

た海や川、湖の水をくりぬいて信者が齋戒沐浴する伝統行事がロシア全土約3900か所で開かれた。内務省によると、18日夜から19日にかけて約210万人が参加。ロシア正教では、キリストが洗礼を

上の信者が海水に浸かった。
■コロナ・ウイルス感染拡大、中国の教会閉鎖へ
新型コロナウイルスが中国全土に拡大、感染率はSARSを凌ぐまでになり、カトリック教会などキリスト教会は、ミサや礼拝を行えない事態に追い込まれている。WHO（世界保健機構）は全世界規模の非常事態を宣言。数百以上の感染例が世界中で報告され、数万人が監視対象にされている。各国政府が病気の蔓延を防止に動いているが、感染率は毎日2倍に増加。新型コロナウイルスが最初に武漢市の市場で発見された湖北省の教会は、1月26日の日曜日に閉鎖され、省内の2行政区が礼拝の禁止を発表。禁止が全行政区に広がるのは確実。国際人権団体「ヒューマン・ライツ・ウォッチ」は、市民への情報抑制や、感染例の過少報告など、中国政府の初動の遅れを指摘している。(平瀬聡樹)

祈りのネットワーク2020

祈りのネットワーク担当から
写真と祈りの課題を!



編集担当 吉村和記

今年も新しい「祈りのネットワーク」を発行します。先生がたには毎年、3月末までの原稿提出にご協力くださりありがとうございます。今年も作成のために祈りとご協力を宜しくお願いします。
*
■今年、ぜひ新しい写真で！
2020年になりました。心機一転、今年は、先生がたの写真も、そして教会の写真も、新しくされたいかががでしょう。ここ数年同じ写真の先生がたもおられますが、毎年、差し替えられる先生がたもおられます。今年、ぜひ、フレッシュな気持ちで、笑顔の写真をお願いします！
■その奥にもっと多くの課題が紙面の都合上、祈りの課題は3点に絞って頂いています。しかし、その3つの課題を祈る時、本当に短い文言の中につめこまれた先生がたの真実な思いを感じるのです。そして到底、3つでは表しきれない多くの課題がその奥にあること

を覚えます。今年も丁寧に一つひとつの各教会、各部署、そして宣教地と先生がたの祝福のために祈っていきたく思います。
■引退された先生がたのためにこれまで群れのために懸命に祈り、労して下さってきた先生がたのゆえに今の教団があることを思っています。そしてそれらの器がたは、今でも現役の私たちがのために祈って下さっていることを感謝します。本当は顔写真も入れたいところですが紙面が許されません。しかし、そのお名前を憶えて祈り続けていきたいと思えます。
■まさに「祈り」のネットワーク組織を統制することや、一人の指導者の強力なリーダーシップで群れがまとまるのでしょうか。そうではなく、やはり、祈りによるネットワークで一つとなっていくるのではないかと思うのです。本誌が少しでもそのお役に立てればと願っています。毎日、どこかの教会のために祈りの手が挙げられています。今年も、その愛によって各教会が、そして教団全体が建て上げられていくことを祈っていきましょう。
■原稿提出にご協力ください
①先生がたの顔写真(単身女性の先生方は教会員といっしょか、教会活動でも可) ②教会外観の写真
③祈りの課題3点
●提出期限 3月31日(火)
●送り先 久留米教会(吉村)
*できればメールで。封書も可。
inori@immanuel.or.jp

人権委員会から……

互いに注意を払おう ハラスメントへの感性を



松江教会 南場安正

人権委員会の存在や活動は、パンフレット『聖なる教会をめざして』ハラスメントを題材にして』を通じてご存知のことと思います。一般的には、ハラスメント問題への関心や防止の動きは日増しに強くなっています。

昨年末、国は、セクシャル・ハラスメント（セクハラ）対策から遅れること十数年、パワー・ハラスメント（パワハラ）防止指針をまとめました。根拠となる法律に、初めてパワハラが次のように定義づけられました。

- ① 優越的な関係を背景とした、
- ② 業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動により、
- ③ 就業環境を害すること（身体的、精神的な苦痛を与えること）。

加えて、事業主は、ハラスメント防止のため、相談体制の整備等の雇用管理上の措置を講じることが求められました。

パワハラ防止を法律で規制する上での課題は、その行為がパワハラに当たるか当たらないかの判断境界線が不明確である点です。パワハラに該当するのか、しないのか、双方の例を示した厚生労働省の素案には、労働者側からのかなり強い反発があったといえます。

世の中のこうした動きを知ることによって、パワハラを背景にセクハラが行われるということへの認識を、改めて持たたいものです（パンフレット第1章2「パワハラが土壌にある」7頁）。パワハラへの洞察と掘り下げなしに、「セクハラはない、起こりえない」と断言するのは、大変的外れです。

そして、ことハラスメントに関しては、世間の感覚に学ぶべきことを痛感します。セクハラの場合は、相手が不快に感じれば、一発アウトです。あるマニュアルには、「……相手が不快に感じていることが分かった時点で、二度と同じ過ちを繰り返さないようにしなくてはなりません。すでに発言してしまった内容については、素直に謝罪しましょう。」とありました。

セクハラとはどういうことなのか、パンフレットの短い解説からでも正しく捉えていただくことができます（第1章1「セクハラII 受ける側が不快に感じる」7頁）。

今後、パンフレットは装いを新たに、より広く目に留まることになる方向にあります。小さなテキストが、主の救いの恵みに生きることを保つために益するものであるようにと心から願っています。

NSDサミットを開催 今後の展開を見据えながら 1月20日(月) OCC8階チャペル



堺教会 蔦田聡毅

今年の1月20日(月)に「NSDサミット」が開催されました。これは18年秋に市川で開催されたNSDIIを軸に、17年5月に教会・教団青年担当者サミット、18年1月に青年宣教団体サミット、そして18年11月のNSDIIの一日目に両者合同でNSDサミットが開催され、今回はその続きとして久しぶりに開催されたものです。

青年宣教団体とはCSK、hi・BA、K GK、CCC等の中・高・大学生伝道に特化した宣教団体や、神学校、プレス、メディア、アート、キャンプ、スポーツ、4/14やCS等の分野を含めた各種団体です。

当日は会場であるOCCホールに、100名を超す参加者があり、参加人数にも年々少しずつですが上昇傾向が見られ、働きが浸透し始めているのではないかと、感謝です。IGMからは3名でした。

午前は礼拝と全体集会。賛美の後、ルカ五章11節より、青年委員長のメッセージ。徒労にも思

えた収穫ゼロの一晚の後にも、魚を舟一杯に満たす主の御声の時のために、網を洗い繕って備えようとみことばの励ましを頂きました。

NSDサミットは、その場所です。終了するイベント的な集会ではなく、それをきっかけに協力関係が築かれ、新しいチャレンジがなされてゆくための営みです。例えば教会の青年会の指導に、専門家の主事を教会に招いて助けていただくなどの実践も紹介されました。

昼食時間は、集まった方々が知り合い、語り合い、交わるためのひと時を有意義に過ごしました。

午後からは分科会が7クラス用意されました。クラスの内容と講師は、①クリスチャンキャンプの作り方（松原湖BC/鈴木師）②青年への話し方、働き方（K GK 総主事/大嶋師）③教会の中高科の作り方（成長・中高科執筆/松井師）④若者の現状（hi・BA 総主事/川口師）⑤SNS関係のアプリーチ（hi・BA 主事/水梨師）⑥東京五輪の年、スポーツミニストーリー（JiSP/岡澤兄）⑦K GKの性・恋愛・結婚についてのアプリーチ（K GK 主事/城間師・吉澤師）。同じ内容を2回実施し、参加者は2クラスに出席しました。各クラスとも、興味を持って参加した方々だったので、質疑応答や意見交換も活発にされ、関心の近い方々が知り合う機会となる有意義な時間となりました。

各講師は喜んで担ってください、熱意を感じるプログラムでした。

オリブ会/さふらん会合同……
貴重なリトリートに
6月22日~24日
講演と分科会
女性牧師部長 黛 睦子

「すべての営みには時がある。」
(伝道者の書三:1)

女性牧師部のために尊いお祈りをいただき感謝いたします。オリブの会・さふらん会合同リトリートの年を迎えました。お一人でも多くの先生方と共に祈りつつご案内致します。

- ◆日時・6月22日(月) 17時~24日(水) 昼食まで
- ◆場所・埼玉県又エック
- ◆講師・石川紀和子師(COG御幸町教会) 23日午前・午後(講演I、II)
- ◆分科会担当
- ・説教II 岩上祝仁師
- ・老後問題II 梅田登志枝師
- ◆その他II 全体会、各会の集い、お交わり、分かち合い、フリータイムなど
- ◆諸費用
- ①交通費は実費が支給されます。
- ②宿泊費は参加者自己負担。
- ◆参加申込書(詳細)は3月の本部便にてお届けします。部分参加も歓迎です。
- ◆初めての合同リトリートのため今回は現役牧師の範囲でご案内させていただきます。

巻頭言

揺り動かされない御国



世界宣教局 葛田 敬子

「世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。」

(1ヨハネ二章17節) 年会の月を迎えました。年々、



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

一年という時間の短さを感じます。時の「区切り」というものの意味と大切さを思われます。24時間の一日がただ繰り返されていく日々のようにも思えますが、私たちは何かの区切りのときを迎えるたびに、時には「限り」があり、「終わり」があることと向き合うことになり、そして、一つひとつの区切りは、本当の「終わり」を迎える練習なのかもしれないと思うのです。

変化。突然のことや予想のできないことで、私たちの「計画」は、いとも簡単に崩され、突然シャッターが下ろされるようにストップしてしまふ。原因について論議しても、当局の対応を批判したりしても、実際の解決策が見えないままに不安が募るばかり。そのような事態を私たちは何度となく経験してきました。

いつも香港のために祈りをあがり、とうとうあります。特に礼拝場の移動と牧師の手術のための祈りの手に感謝致します。突然の大きな試練でしたが、みことばの通り、「折にかなった助け」(ヘブル四章16節)と、試練とともにある「脱出の道」(1コリント10章13節)を経験させていただきました。



CHINA

香港

鹿島義喜・朱蕙芬* 2020年2月7日

訪ねることが許されましたが、このウイルスの感染を覚える時に主のご介入と医療関係者のために祈らざるをえません。一刻も早い終息を願っています。





KENYA

ケニア・テヌウェク

蔦田就子*2020年2月10日

制度変更の影響で、更新・発行手続きが停止してしまつた医師免許を待告課題にあげました。全員が無免許診療になるといふ事態の中、ナイロビにスタッフを派遣しつつ、医長は「信仰をもつて落ち着いて診療にあたりますよ」と呼び掛けています。速やかで良い解決をお祈りください。

「だめだめ、ここはもう一杯」が頭をかすめます。病棟が一杯で回復室から病棟に移動不可、回復室が一杯で手術室から回復室に移動不可、手術室が一杯で次の手術が実行不可、という状態が夜中でも続きます。他院からの転院願いをお断りしても、直に來られる方々は断れないので、数は増えます。そんな中、病棟には一度も入れず回復室の片隅で数日間不自由に過ごされた男性が「ありがとうございまして」と退院されました。今回のような申し訳ない状況で一言だけに心に染み、神様の励まし

を感じています。主任休暇中のみ助けをお祈り頂き感謝。12月途中もう一人の副主任が緊急手術、術後3週間療養が必要となり、また一人に（インマヌエルの主がおられますが）。クリスマスカードの「祈っています」の一言が、感謝。今はどちらも復帰。12月5日JOMAコンサート中継日は主任が休日出勤、丸一日休暇をとって準備と参加。全体告知の中で紹介した姉妹のお証しに感動する声とともに、「もっと早く教えてくれれば」という声がたくさんあり次回への反省。回復室の金属製ドアがまた傾き始め、石の床とこすれあつて背筋も凍る音を立てます。修理が入るまで「持ち上げて開閉してください」に「You raise Me (do or up)」と書きました。見る度コンサートが思ひ出され、恵みとなりました。教区会も主任が休日出勤、クリスマス前後の勤務表も埋まり、諸行事に参加でき感謝。

12月クリスマス祝会ができなかったもので、新年感謝会。日本等からのペンをギフトに。勤務時間前の早朝に感謝礼拝。前日に手術室で患者さんが亡くなる事がありました。そんな時でも感謝する要素があること、感謝することが助けになること、そのもとなるお方に目を向ける励ましのメッセージ。スタッフからの感謝リストも公表。夕刻に愛餐。麻酔科看護師学生8名、看護師

学生11名等が加わっています。1月最終週から2週間、小児心臓外科専門の海外チーム。初日、2件目終了は夜中の3〜4時、一部のスタッフを少し休ませてでも予定通り早朝から始めたいということで、病欠のスタッフの補充もしながら少ない人数のやりくり。他の日も、絶対無理、と思う状況の中、叫ぶときに応えてくださる主に感謝する日々。事前の打ち合わせ、使用物品の正確な把握等反省点は多々ありますが、ここまで支えられて感謝。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2020年2月10日

「民はみな、これを見てひれ伏し、主こそ神です。主こそ神です」と言った。」(第一列王記一八章39節) 二期が始まりました。常喜は歴史書を短期集中講義で2年生に教えています。学生は12名で、その内の3名は視覚障害者です。大抵は視覚障害者を受け入れてはいますが日本のように整えられた環境ではないのでクラス担当の教師がそれぞれ工夫してサポートしていくしかありません。常喜は予め講義ノートを作成配布し、彼らがコンピュータで読める（聴ける）ようにしています。困難なことのひとつは聖書に関わるイラスト、図形、地図などを使って教えることができないということです。ですから、すべて文章での説明ということになります。主の知恵をいただきながら授業は進められています。バギオで著名な新約聖書学者のセミナーがあり一人で泊まりがけ

で出席しました。その帰り道、高速道路をおり、料金所を出たあとすぐに車両の左側から異音がしたので、車から降りて左側だけ確認したのですが、特に以上はありませんでした。再び走行し始めると、やはり異音が聞こえるので、暗くなりかけていたので街灯の下に車を止め、今度は右側を確認したところ、タイヤがパンクしていました。タイヤを交換しようと、備え付けの工具を取りだし、四苦八苦しながらジャッキで車体を持ち上げることができました。タイヤを取り外そうとボルトを緩めようとしたのですが、締め具合が堅く緩めることができませんでした。そこで、道路の反対側に灯のともった屋台に駆け込み、そこでたむろしている男性たちに助けを求めるところにしました。彼らに英語で話しかけ、理解はしてくれているようだったので、なかなか重い腰を持ち上げようとはしてくれませんでした。すると脇で聞いていたエプロンをまとった屋台の女将が応じて、親子のような2人の男性に指示を出してタイヤ交換に協力してくれました。私には車を屋台のところまで持ってくるよう

ができないようで、男2人で、あ
あでもない、こうでもない悪戦
苦闘していました。

ちょうどそこへハイウェイ・パ
トロールの車両が休憩で屋台の前
で駐まったので、私が助けを求め
ました。すぐに降りてきて、状況
を聞いた隊員が大きなジャッキを
持って来て貸してくださり、やっ
と車体を持ち上げることができま
した。タイヤのボルトも備え付け
の工具だけでは緩めることができ
ませんでしたが、大きな鉄の棒を
使ってテコの原理で回し、緩め外
すことができました。その後のタ
イヤ交換はスムーズに進み、結局
タイヤに2本の釘が刺さっていた
のを確認することができました。
高速道路走行中にパンクするとい
う大事に至らなかったこと、街灯
の下に車を停めることができたこ
と、近くに屋体があり、そこに助
けてくれる人たちがいたこと、休
憩のために立ち寄ったハイウェ
イ・パトロールの隊員たちがいた
こと、背後の祈りがあったこと、
そして、すべての背後で働いてい
て下さった主のみ守りに感謝しま
した。



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子*2020年1月29日

2020年が始まりました。今
年も主にあるお交わりを宜しくお
願いします。1月は家族とゆっく
りとした時を過ごさせていただき
ました。前回の広げた翼にでも分
かち合いました。2019年の
12月に祖母を天に送り、その後し
ばらく巡回報告が入っていないこ
ともあり、実家の仙台でゆっくり
年越し年明けを過ごさせていた

きました。

日本帰国中に、医療現場での経
験の機会が与えられています。現
在、病院で非常勤として働いてい
ます。お産数は少ないのですが、
産婦人科と内科病棟の掛け持ちの
ような職場です。1月に帰国後、
初めてお産介助に携わらせていた
だき、久しぶりに日本でのお産介
助で緊張しましたが、産婦さんが
フィン人の方でも楽しんでくださ
り、お産介助をさせていただきました。
お産後の会話で自分がアフリカで
宣教師をしていることを分かち合
い、カトリック信徒である彼女と
神様に感謝しながら不思議な巡り
合わせを感じ、御名を崇めました。

巡回報告も恵まれています。1
月12日には中目黒教会の婦人会・
ベタニヤ会の例会。翌日の13日
には関東新年聖会の午後の宣教会で
挨拶と簡単な報告の機会をいただ
き、巡回報告が許されなかった教
会の先生方や信徒の方に少しでも
ザンビアでの恵みを分かちあえる
ときとなり感謝でした。19日には
王寺教会を訪れ、恵みのときを過
ごしました。26日には前週に教会
総会を終えたばかりの神栖教会で
奉仕させていただきました。教会
を訪ねるたびに「日本の冬は寒い
でしょう。体に気をつけてね」と
あたたかく声をかけていただき、
祈られ、支えられ、励まされてい
ることを実感しています。

.....

■会計報告1月分
宣教献金 三、六五九、七八四円

お祈りの課題

カンボジア(鳥田縁乃)

◆KCCの伝道者の霊的一致と伝
道活動に聖霊のご介入が絶えずあ
りますように

◆ヴァンデイ師はテス夫人と共に
宣教活動に専念する道を探ってお
ります。主の正しい導きとみ助け
を日々お祈りください

◆鳥田の日本滞在中の住まいとな
る家のために導きを祈っておりま
すのでおいのりください

台湾(平瀬)

◆台中教会・台南日本語礼拝の働
きを通して、明確な救いに導かれ
る方が起これますように

◆新型コロナウイルス肺炎の感染
拡大の中、学校の春節休暇も2月
25日まで延長となりました。マス
ク不足の中、守られるように

◆子どもたちの学びと将来の導き
のために。主の導きと助けが豊か
に伴いますように

◆台湾の政治、経済、治安の安定
のために。総統選挙後、国内外に
難題が山積しています

ザンビア(根廻)

◆毎回の巡回報告での恵みに感謝

◆ザンビアの干ばつ問題のため

◆ジェンボ・クリニックのスタッ
フと働きのため

◆ザンビア(富澤)

◆ザンビアに必要な雨が降る
ように

◆主の証しのためにクリニックが
歩んでいけるように

◆健康管理と霊の営みが支えられ

香港(鹿島)

◆教会の11年目の歩みの中、一人
ひとりにみことばによる霊的成長
が与えられ、また新来会者が加え
られてきますように

◆牧師夫妻の健康が守られ、香港
と広州での邦人伝道の働きが続け
られますように

◆香港の政治と社会秩序の安定と
経済的な回復のため
ケニア(鳥田就子)

◆主任、副主任の復帰の感謝
◆国内外の医師免許の更新が無事
に終了するよう

◆麻酔科、整形外科を始めとする
働き人(ルカー10章2節)が起こ
されるように
フィリピン(豊田)

◆新学期が始まった学生たちがサ
タンからの誘惑、攻撃から守られ
ますように

◆事故、事件、怪我、過ち、災害
から家族が守られますように。子
どもたちの学びのために。

◆3月11日に帰国予定。準備と4
月から始まる巡回のため
グローバルユースミニストリー
(鳥田康毅・由理)

◆新型コロナウイルス感染拡大の中にある
C国関係のメンバーやご家族のた
めに

◆4月から新体制に入るGYMの
働きと、華人教会に引き継がれる
中国語礼拝のために

◆5か月の予定で持たれた深川教
会でのディアスポラの親子プログ
ラムが祝され感謝でした

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

いつも信徒のことを

院長 ● 河村 従彦

「福音のためにあらゆることを」

(第一コリント九・23)

パウロはヘブル人でありながらギリシャ世界のことがかかるヘレニズムの人間でした。ですから、自分はヘブル人にも合わせられるし異邦人にも合わせられる、自分のあり方にこだわらないことがキリスト者の自由だと考えました(19～22節)。すごいことです。律法をいただいたと自負している人にも、自分は優遇されなかったと惨めに思っている人にも自分を合わせられる、そこまで自分の人生観を拓ける自由が自分にはあるだろうか。イエスさまに出会って以

来、自らに問い続けた問いです。

正論であっても正しい神学であっても、だからといって人の心に届くわけはありません。正しい自分の神学が弱い方々の心に響く妨げになりました。もっと人間を、そして現場を知らなければダメだ、どんな低いところにも恵みは届くのだと、何度も何度も福音理解を押し下げて頂きました。

ずいぶん前になりますが、ある有名なお笑い芸人が、これからの若い芸人たちがエントリーする番組の審査をしていた場面がありました。その方はこのように言いました。「一日24時間、寝ても覚め

てもネタのことばかり考えている」。当時はそれほど問題意識がなかったのですが、「芸人はすごいな」と思いました。

いわゆる根性論のことではなく、芸人と違って奉仕は根性でやると相手が傷つくことがあります。しかし、こういうことかと思えます。結局自分はどちらを向いて仕事をしているだろうか。牧師は基本的に「信徒のことばかり考えている」ということなのでしょう。

みことばのご奉仕は、神さまからのお告げを伝える場ではなく、パウロがそうであったように、恵みを分かちあいたい方々に自分を合わせて行くことで、逆に自分が恵みを受ける場です(23節)。

現場主義でありたいと思います。上を向いていると足元をすくわれます。奉仕者は現場を向いている限りにおいて安全です。



ベテルハウス(旧女子寮)前の土留め工事です

神学エッセー

青年宣教への取り組み ② NSD サミットの目的とは



葛田聡毅

今年の1月20日(月)、御茶ノ水OCCで「NSDサミット」が開催されました。訳さずに言う、「日本青年伝道サミット」となります。一昨年の秋のNSDⅡの準備として始まった営みで、青年伝道に重荷のあるキリスト教諸団体と、JEAに属する諸教団や諸教会の青年担当リーダーたちが一堂に会して、互いに分かち合い、学び合い、交わりとネットワークを掘り、関係を密にしていくことを目的とした営みで、当日は100名を超える方が集まりました。詳細は、期せずして別の欄に報告を書くように依頼が重なりましたので、そちらをご覧頂ければ感謝です。大まかにいうと、午前は全体集会で、これら一連の流れが説明されつつ、青年委員長による聖書のメッセージが取り次がれました。その中で、教会と学生伝道団体が具体的に協力している実例が紹介され、K GKとhi・BAの主事から、団体の働きが各教会とどのように関わっていけるのか、

その期待や可能性、団体側でそのために準備している事共についても発表していただきました。お昼の休憩時間は、得難い再会の機会を喜ぶ姿も見受けられましたが、もっと大切なのは新しい出会いや連携が広がってゆくことで、このネットワークの形成・強化がサミット開催の主目的でもあります。今回イムマヌエルからは3名の参加でしたが、今後の青年宣教活動を展望する上では、こういうネットワークに積極的に加わっていることは不可欠ですから、特に青年の働きに携わっている器方を組織的に送り込むくらいの姿勢が求められると思います。でないと言われれば、元に戻して、午後の時間は7クラスの分科会をもち、2コマ同じ内容を繰り返すことで、各参加者は2クラスを受講できるようにしました。各クラスの内容は5ページをご覧いただければと思いますが、自分自身で興味を持っていく分野についての学びを深めるだけでなく、同じ課題に関心や重荷のある仲間と知り合い、共に学んだり意見交換をしたりする場にもなりました。

青年期に良き仲間たちと出会い、より多くの仲間たちと共に育つことは、良き発展の可能性に満ちた、そして健全な成長に繋がる大切な要素です。そのためには青年たちが集う場を提供するだけでなく、教会や教団がより広く強固な受け皿を用意する必要があります。

◆卒業を前にして

共有するストーリー

正規コース 峯尾仰生

「この町には、わたしの民がた
くさんいるのだから。」

(使徒の働き一八・10)

私の体調が沖繩の気候や食事に
順応していることを実感しつつ生
活しております。教会の奉仕や卒
業論文作成等の合間を縫い、外に
出ると数多くのストーリーに出会
います。

道を尋ねた際、目的地まで一緒
に歩いてくれた近所の優しい子ど
もたち。自動車教習所に行くため
バイトをして貯金をする高校生。
様々な情報に触れ、自分に適した
就職先を模索する大学生。日本で
の就職を目指し、日本文化や言語
を学ぶ留学生。掛け声を合わせた
体操を早朝に行い、体と心を整え
る消防士。顧客数増加に繋がる広
告や企画を考え続ける社会人。健
康維持のため、ジョギングをする
ご夫婦。

各世代の方々との挨拶や会話を
通して共有するストーリーにはい
つも感動を覚えます。失敗や葛藤
挑戦などを含むストーリーは単な
る情報ではなく、心に長く残るも
のとなり、互いの視点を広げます。

イエスさまのストーリーに触
れ続けた時にも視点が広がります。
主の前にいる私という存在へ
の視点、そこに届く恵み、神の子
としての現実への向き合い方、土
台である十字架と復活など計り知
れない広がりです。神学院におい
て、その広がり一つひとつを言葉
にして学び、私のストーリーにす
でにあった恵みを整理するきつ
かけが与えられました。この時間と
関係性を主が与えてくださったこ
と、周りの方々に支えられて今が
あることにただ感謝するのみです。
これからも主が色鮮やかなス
トーリーを用意していただく事
ことに期待しつつ、主と共にス
トーリーを共有できる皆様と共に
一足一足歩みたいと思います。
.....

◆卒業を前にして

感謝しかないじゃないか

正規コース 竹内俊之

「何事も利己的な思いや虚栄か
らするのではなく、へりくだって
互いに人を自分よりすぐれた者と
思いなさい。」(ピリピ二章3節)
神学院と神学生のために尊いお
祈りをありがとうございます。

姫路教会のインターン実習生と
しての学びもあとわずかとなり



図書館・食堂棟の厨房改修工事です

ました。ほぼ予定通りできたこ
と。そしてこの学びの最大の目標
が「聖日(主日)礼拝と祈禱会を
定められた聖なる時として滞り無
く、穏やかな静まりの環境の中で
肅々と守り続ける。」そのため
は、まず教えていただくことが大
切でした。

全てが初めて尽くし、教会員の
皆さんと隣三軒両隣。イレギュ
ラーに5月から始まった実習は
完全な一人暮らし。完全アウエ
イ、一人ぼっち。でも一人だった
からこそ、些細な事でも教えてく
ださる教会員の皆さんやご近所
の方々の親身なアドバイスが感謝
でした。素直に皆さんを「すごい人
たちだ」と感謝し尊敬できました。
周りは田畑と住宅そして山と川だ
けですからイエスさまとサシで交
れました。頭下げて走り回って
キョロキョロして、何度か転びな

◆学年末を迎えて

ひとひら奏でる

聴講生 藤井佳代子

がら、アツという間に9月に入っ
て、懸案の会堂改修工事が無事故
で終わり、綺麗で機能的に変わっ
た新会堂を目の当たりにし「ヤル
じゃん俺!」と思いました。表向
きは「主と、教会員の皆様のお祈
りの賜物です」と言いつつ心中は、
俺の功績は大きい!とほくそ笑ん
でいました。着任当時の謙虚に聴
き、学ぶ姿勢はどこへやら、高慢
に堕ちていました。兄弟姉妹から
の指摘や忠告を煩わしくさえ思っ
ていました。傲慢でした。しかし
気付かせ、あるべき牧者の姿に戻
してくれたのも、いつも側にいて
くれた主であり教会員の皆さんで
した。感謝しかないじゃないか。
.....

ひとしお寒さが身に沁みて春初
の備えにためられます。主よ、春
雪に息吹きをお与えください、甘
雨を注ぎ、芽のばしてください、光
を照らし、咲かせてください、ひ
とひら奏でられるように主よ。
闇の世に打ちひしがれようと、
良き音連れを共に待ち望みます。
ひと音ひと音、響き合い、ひとつ
和音が澄み渡る。麗らか音色に安

らいで、恵み豊かに満たされる。
ひとひら奏でられるように主よ。
主の前に再び自分と向き合い、
今までの学びも思い巡らしました。
傷つくのをおそれ身がすくみ、私
は無力であることを改めて思いま
した。しかし主が私たちの中に居
てください、主の永遠の命が与え
られていることを思い起こします。
測り知れない主の力が働きますの
で、私たちは、四方八方から苦し
められますが、窮することはあり
ません(IIコリント四・7-10)。
主に今の自分を置いていただく、
無力な私を差し出して、主にして
いただく、それで良い、否むしろ
それが良いと、主が語りかけてく
ださったように感じました。主と
共に人に寄り添う、そのただ中に、
主の愛があると信じます。福音は、
受肉してくださいました主イエス・キ
リスト、共感共苦してくださいさるお
方です。主が私たちを愛し続けて
くださるよう、主と人を愛する、
互いに与え受けるという生きる真
理、人々の間で生かされることが
使命と、語られます。
学びが知識のみに留まらずに、
ようやく心深く届いたような気が
いたしました。主が私たちを贖っ
てくださいだったので恐れるなど、一
人ひとり私たちの名を呼んでくだ
さいます。私たちを見守ると、尊
い存在であると、こよなく愛する
と、約束してくださいさる主に賛美
いたします。福音が全土、さらに地
の果てにまで届きますようにお祈
りいたします。

私の神学生時代 心の目が開かれて 22期生 ● 徳田由紀子



「けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。」(第二テモテ三・14)

私が入学を許されましたのは、1970年の4月でした。

私にとって、BTCでの生活と学びは、それまでの人生の歩みを一変させるものでした。規則正しい生活とともに、寮生活であり、それは他人との関わりを意識した共同生活であり、さらに神さまを意識することを学ぶ場所となりました。入学前は自分を中心とした生活を送っていました私にとって大きな変化でした。

初代院長の葛田二雄先生からは「教理」と「メソジズム」の授業を受けました。先生の授業は心の目と体の目が、新しく明るくされる本当に楽しい学びでした。1年生の教理の授業は、「神学は科学の女王である」と何度も繰り返して神学の優位性を教えられるところから始まりました。子どもに教えるように懇切丁寧に教えていたのだいた授業は、まるで詩篇一九篇7〜8節のようでした。

神学院時代で一番新鮮に感じた学びは「メソジズム」です。それは今日まで影響を与えていただいております。

十八世紀の荒廃した英国社会を、ウエスレーのメソジスト運動が改革した出来事です。

例外はありませんでしたが、神学院での基準に従う生活や歩みは、自分を変えられ、神を中心にした営みに整えられる大切なものでありました。その影響は、周囲にまで及ぶということを教えられたことです。

規則を用いた訓練からの生活は、人の前のデイシプリンが、神の前のデイシプリンに繋がることも理解する大切な授業でした。

当時、月曜日の外出週に憩いを求めて、世田谷の叔母の家に行っていました。今は亡き叔母にメソジズムの大切さを解説したことを思い出します。

卒業して今日まで、拙い歩みですが、神学院で学んだことを生かして奉仕の生活ができたことは本当に幸いでした。

現在、終活の入り口に差し掛かっています。年令に相応しく、この歩みを続けて行くことができれば、と神さまに願いつつ過ごしています。

教え導いてくださった多くの先生方は既に天に帰られました。小さな者に神学院時代を与えてくださった神さまと先生方に感謝しています。

同窓生の近況

50期生

フィリピン ● 豊田常喜



学院卒業後2年間の徳山での牧会后、フィリピンにおける宣教師生活も宣教師候補としての滞在を含めると16年経とうとしています。教会の祈りなくしてはこまめに送り着くことができなかったことを実感する日々でした。フィリピンに赴任してから子どもも4人

与えられ、妻共々暗中模索しながら子育てと宣教の働きに邁進しています。昨年、長女がテコンドーを習いはじめ、先日、地域大会に参加し優勝して帰ってきました。一番小さな女の子(長女)が

一番左に立ち、その右側に、背の高い男子約10人がズラッと並んで表彰され、最後に長女が金メダルを首にかけられていました。自分より大きい男子たちに囲まれながら、子どもながらにプレッシャーを感じ、緊張し試合に臨んだに違いありません。そんな中、堂々と

一番を取って、今度ロザリス市長にも表彰されるとのことです。子どもたち一人ひとりの成長を見ながら、自分も父なる神の子どもとして成長し、メダルを取れるような働きができたらと願う日々です。

初代院長と私の献身①

図書館司書 三森春生

信仰生活3年目に近づくころ、主からの献身への召しと思われるいろいろな兆候を受け取った。大

学3年だったので、卒業を待ってその道を選択しても良かったのだが、さまざまな思いから、中退して献身に走ろうと考え、教団総理、神学院院长、そして何とんでも自分の教会の主任牧師である葛田二雄先生に相談するのが一番と、7月8日に北浦和のお宅を訪ねた。

当然ながら、私の献身の意志を肯定的に受け入れてくださったのだが、大学は卒業してからのしなさい、などとは言われなかった。実は帰宅せずにそのまま入寮せよと言われたら、そうしても良いぐらい高揚していた自分の心には、来春の入試の勧めは冷や水がかけられた思いだった。

神学院スタッフ…恵みの想起

学苑だより

●卒業式、4名の方々が集立って行かれます。春の足音とともに感慨ひとしおです。

●年会準備が進むキャンパス・厨房の改修工事が終わり、きれいな設備で年会を迎えます。

●旧院長室は葛田二雄先生の展示室になります。貴重な資料性のあるものを中心に展示されます。

●本館2階はトイレを改修、廊下と部屋のカーペットを張り替えました。宿泊室と食事処になります。

●70周年記念工事の最後、ホテルハウス前の土留め工事を行いました。ホテルハウスは子どもさんをお持ちの方の宿泊室になります。

●信徒局教団活動支援部が、先生方にはゆっくりお過ごしいただきたいと年会準備を進めています。



サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。1月の会計報告をさせていただきます。

1月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による
「神学院サポート献金」
¥2,358,120
教会団体による「神学院献金」
¥865,400
合計 ¥3,223,520
その他の献金(一時・特別)
¥217,500

・振替：00230-0-10138

●神学院祈り会は3日(火)です。

公報

本部通達

「それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち、それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる。主が義の神であるからだ。幸いなことよ、主を待ち望むすべての者は。」

（イザヤ書30章18節）

今月末は、久しぶりに聖宣神学院を会場として第75次教団年会・聖会が開催されます。祝福を祈りつつ、すべてに主の豊かなご臨在と導きをお祈りいたします。

年会では昨年度、新年度の報告や協議、靈的な刷新と調整、研修も予定されています。とにフェス、CSプログラムも並行して主の恵みを共有するようになります。新たな任命を受けて主に遣わされる時が祝福されますように、お祈りください。

■本部

（会議）

25日（火）年会初日午後

教団責任役員会（決算書承認）

■第75次年会

すでに送付された年会招集状にありますように、全牧師は、25日（水）午後1時半までに、年会会場（イムマヌエル聖宣神学院）にお集まりください。

すべての集会が信徒の兄弟方にも公開されておりますので、ぜひご参加ください。

■財務委員会

第75次年会開催のための総予算は1,190万円です。そのうち691万円を年会分担保金として全国教会にお願いしております。各教会で実施される年会献金へのご協力をよろしくお願いいたします。

▽単位法人格を持つ教会は、毎年法的義務として、毎会計年度終了後4か月以内（本教団の場合、通常4月末まで）に、宗教法人の事務所に備え付けの書類の写しを、各都道府県所轄庁に提出するようお願いします。この場合、事務所に備え付けの書類とは、役員名簿、財産目録、収支計算書・貸借対照表（作成している場合）、境内建物（財産目録に記載されているものを除く）に関する書類、事業に関する書類（行っている場合）となります。提出の際、同じ写しを本部総務局宛にもご提出ください。よろしくお願いします。

■総務局

＜教職按手札試験について再度のご案内＞
1月号の教報でもご案内いたしましたが、教職按手札試験の希望者は3月末（例年よりも締め切りが早くなります）までに総務局へ申請書の提出をお願いします。ご相談は各地域担当ブロック・アドバイザーまでお寄せください。

■国内教会局

＜BA・主事連絡会＞
3月27日（金）任命式直後、場所は年会時に発表

＜全国BA主事会議＞

6月8日（月）午後3時～9日（火）午後1時
会場ⅡBTCベテルハウス

▽宣教師の2020年巡回報告（神栖教会、葛田敬子師までお申し込みください。）

■世界宣教局

*根廻恵子宣教師（ザンビア）は2020年3月中旬まで。
*豊田常喜、恭子宣教師（フィリピン）は2020年4月～8月。
▽根廻恵子宣教師は4月20日にザンビアに再赴任される予定です。

＜IWF関係＞

▽宣教師を教会に招くための奉仕依頼については直接、各宣教師にお問い合わせください。また、IWF基金から交通費等の援助を希望する場合は、委員の梅田登志枝師までご連絡ください。

■教育局

＜教育部・生涯学習課＞
若手牧師研修会 於・川崎KSPホテル
24日（火）午後～25日（水）午前
テーマ「牧師とセルフケア」
発題Ⅱ小川宣嗣師、古川恵子師
＜青少年部・青年課＞
▽ReⅡ（旧YSウエスト）
5月3日（日）～5日（火）
会場Ⅱ大阪府立少年自然の家
講師Ⅱ松尾献師（KGG主事）
＜青少年部・中高生課＞
▽とにキャン・スタッフトレーニングキャンプ
24日（火）午後～25日（水）午前
会場Ⅱ聖宣神学院
年会受け入れ準備を兼ねて

▽とにキャン・フェスティバル

25日（水）夜～26日（木）午後（年会期間中）
会場Ⅱ聖宣神学院・本館チャペル、ウエスレーチャペル
メイン集会・聖会Ⅱ
説教者Ⅱ安藤理恵子師（玉川聖学院院長）
テーマⅡOne Team～主にあって一つ～
▽第13回とにキャン
日程：8月10日（月）～13日（木）
会場・聖山高原チャペル
講師Ⅱ朝岡勝師（同盟・徳丸町教会）
テーマⅡメダリスト～なくならないもののために～
＜青少年部・教会学校課＞
年会時（26日）に特別CSプログラムを実施します。
▽eラーニングのご案内
クリスチャンセミナー「靈的視点からみる境界線」講師は中村佐知先生です。申込等の詳細は、教報2月号の4頁をご覧ください。
■聖宣神学院
▽入学審査は3月2日（月）に行います。
▽神学院祈り会は3月3日（火）午後6時～7時に行います。会場は本部会議室です。奨励は内山勝先生です。
▽卒業式は3月13日（金）午後1時30分に開式。
▽年会受け入れ準備については「学苑だより」をご参照ください。
▽ベテルハウスのお問い合わせ・利用申込みは、学務課・馬場姉まで。

▽在校生の教会実習は3月29日（日）までとなっています。新年度の教会実習は4月5日（日）から始まります。

▽入学式・始業礼拝は4月3日（金）午前10時30分より開式。

▽BTC後援会からのお知らせ

「世話人」の更新時期です。引き続きご協力をお願い致します。推薦がまだの教会はぜひお加わりください。

■出版事業部

▽祈りのネットワーク原稿提出のお願い。①先生がたの顔写真（單身女性の先生方は教会員と一緒に教会活動でも可）②教会外観の写真 ③祈りの課題3点
●提出期限 3月31日（火）
●送り先 久留米教会（吉村）
*できればメールで。封書も可。
inori@immanuel.or.jp
▽リーフ66号（春号）受付中
すでに教会宛見本をお送りしました。割引制度も設けています。ぜひリーフをご活用ください。春号の申込締切は3月11日です。3月30日に発送を予定しています。

▽2月号の国内教会局のお知らせ

に静岡教区女性大会の日程が掲載されておりましたが、今年開催の予定はありませんでした。お詫びとともに訂正いたします。
教報PDFパスワードⅡ3186

新生宣教団 定価 一部110円（税込）

郵便振替 001107133609

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一

〇〇〇ビル

消息報告

